

牛久：学校周辺に見る自然

第30号 中根小(、牛久二小、牛久二中)

2010年7月16日発行

<1年生生活科・学校のまわりを探検しよう! ~その1>

7/15、中根小1年生の皆さんと、学校のまわりの生き物探しをしました。

①ラッカセイ *Arachis hypogaea* (マメ科)



学校を出て、まず目に入ってきたのはラッカセイの畑。黄色い花をたくさんつけていましたね。ピーナッツは好きだけど、花を見たのは初めてという子たちもたくさんいました。中根小では、3年生になったら育てるようですよ。それまでのお楽しみ! ところで、花は地上で咲くけど、実はどこに出来るのだろう? この質問に見事に答えてくれた子がいました。収穫するところをちゃんと見ていたようです。花は咲き終わると柄がのびて、地面の下にもぐっていくのです。そこで膨らんでいって、おいしいピーナッツができるのですね。

②カヤ *Torreya nucifera* (イチイ科)



とても幹の太い大きな木でした。幹周りを測ったら、3.7mほどありました。カヤやイチョウなど、裸子(らし)植物とよばれるグループについては中学校で勉強しますが、『中根小の自然・第7号』も参考にしてください。写真左側の大きく膨らんでいるのが昨年5月頃に咲いたもの、中央やや右の小さなコブのように見えるのが今年5月頃に咲いたものです。開花から1年半かけて成熟するのです。

③ヤマグワ *Morus bombycis* (クワ科)



果実のつくりや、似ているマグワ、ヒメコウゾとの違いについては、『中根小の自然・第8号』を参考にしてください。まだ緑色の実から、赤っぽい実、黒っぽくなった実などいろいろありましたが、どんな実がおいしいか教えてね? おぼえてますか?

←鹿嶋神社のヤマグワ

7/15



←牛久二中裏の

ヒメコウゾ 7/1



【理科支援員・宮内】

↑牛久二小のマグワ 6/11